

FOCUS

追いかける。大学生。

特集

学生の金銭感覚

アンケート調査

バイトに専念し月数十万稼ぐ人、趣味やサークルに没頭しお金をつぎ込む人。学生のお金の使い方は様々だ。お金を何に消費し、何を目的に貯金をするのか。1・2年生を中心にアンケートを取り、その傾向を探った。

対象は関西の大学生100人。

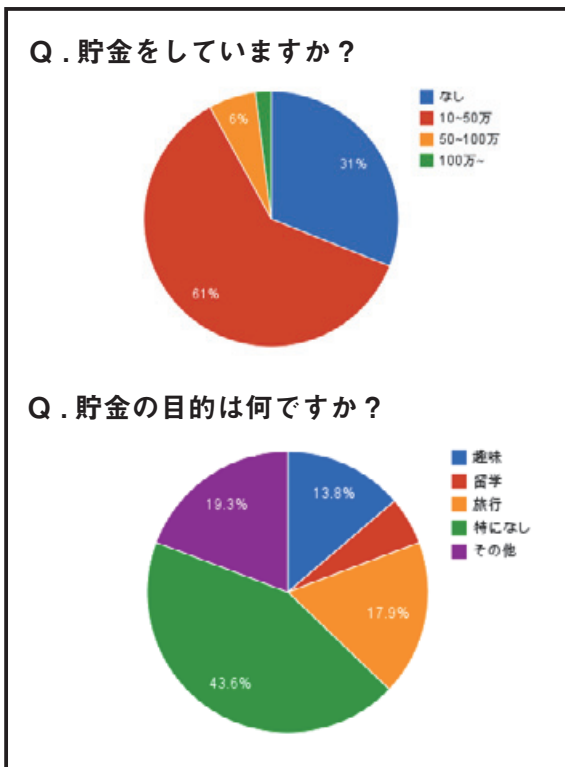
貯金をする目的について尋ねた質問では、「目的はない」を選択した学生、「その他」で「何かに挑戦したいときのため」や「いざという時のため」と回答した学生で半数を占め、旅行や留学といった具体的な目的はあまり見受けられなかった。近年の不景気を受けてか、「とりあえず貯金しておこう」という、学生の消費に消極的な姿勢がかなり浮き彫りとなった。

一方、貯金の額を尋ねた項目では、約7割の学生が10万円以上の貯金をしており、そ

のうち1割が50万円以上もの

貯蓄があることがわかった。しかし、大学生活で購入した一番高額なものは何ですかという質問の回答結果では、ほとんどが服や電化製品といった生活必需品に。中には、旅行に40万円、留学に50万円という回答も得られたものの、全体的には高額でないものが多数を占めた。貯金している金額に対して安価な買い物しかしていないことから、学生の消極的な姿勢が裏付けられる。

そんな中、そのような消費姿勢には目もくれないような



カネ遣いも「安定志向」

学生もいる。ゴルフ場でのキャディと居酒屋のバイトを掛け持ちしている中岡良太さん(神戸大・1年)は、月20万以上稼いだこともあるバイト代を、主に自分の趣味や、所属する運動部で使用する用具代に使っている。「欲しいものがありすぎる。物欲は絶えない」と語る中岡さん。貯金をする考えはあまり持ち合わせてはいないのだから。バイトを始めてから「店先で欲しいと思ったものは迷わず買う」ようになったという。ただし、一番稼いでいた去年の11月は、日々バイトに明け暮れたことで、部活や学生生活に支障をきたすこともあった。今では「自分の物欲に合わせてお金を稼いだらいい」と思い直し、バイトのシフトを減らし、趣味に時間を充てている。

大学生になって初めて自分でお金を管理することになった学生は多いだろう。お金の運用に関して、試行錯誤している学生は少なくないようだ。

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムズ編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです